

第二十三回配本 姫路市史 第十六卷 別編 年表・索引

2023年3月30日発行 A5版

編集：姫路市史編集専門委員会

監修：甲南大学教授 佐藤泰弘

発行：姫路市



姫路城と姫路駅を中心に北から見た市街地（表・見返し写真）



三國堀から見た平成の大修理後の姫路城（裏・見返し写真）



第十六巻（手前）と既刊22冊（奥）

第二十三回配本『姫路市史』第十六巻 別編年表・索引をお届けします

明治二二（一八八九）年に姫路市が誕生する前から、この地域は長い歴史を紡いできました。その歴史を多面的にとらえるため、昭和五六（一九八二）年に『姫路市史』の編さんが始まりました。本書『姫路市史第十六巻 別編年表・索引』は、市史の二三冊目にあたる最終巻であり、「総目次」「年表」「索引」および「編さんのあゆみ」からなっています。膨大な市史を活用する時、姫路の歴史を通覧したい時に、本書は手引きになります。

「総目次」には既刊二三冊の目次をまとめました。本編六巻八冊、資・史料編七巻一〇冊、別編二巻四冊のそれぞれが何を取り上げているのか、市史の全貌が分かります。また姫路の歴史を考えるための視点を知りたい時にも役立つはずです。

「年表」は本編及び別編の本文記述を中心に、姫路市及び周辺地域における主要な出来事を約五〇〇〇項目採録しています。年表を眺めていくと姫路のあゆみが分かりますし、思いがけない出来事の同時代性に気付くことができます。年表の各項目には参照すべき市史の巻数・頁数を付記しているので、出来事の年代から調べ物をすることができます。

そして「索引」には約一六〇〇語を人名・地名・事項に分けて収録しました。姫路について気になる言葉に出会った時、ぜひ索引で調べてみてください。一つの事柄が複数の巻に散見することもあり、出来事の関連性を発見することもできます。

「編さんのあゆみ」は市史編さんの経緯とともに、各巻の編さんにおける工夫や苦心したことを記録しました。数多くの方々と諸機関の協力を得ながら、四〇年をこえて取り組んできた市史編さん事業のあゆみは、それ自体が興味深い読み物になっているはずです。

内 容

(本体) 総目次

年 表

索 引

- ・人 名
- ・地 名
- ・事 項

編さんのあゆみ

年表見本 (抜粋)

年表 1601年～1613年			
和暦	西暦	姫路と周辺地域	参照巻・頁
慶長 6	1601	3.一 木下家定、姫路から備中足守 2 万 5000 石に移封	③11 ③36
		6.一 播磨国の慶長検地開始(～慶長19年頃)	③38・73
		11.一 池田輝政、入封後、最初の新知行高を発令 この年、池田輝政、国高の二割打出しを実施 池田輝政、中村正勝を東播磨、若原良長を西播磨の仕置人に任命 野里村絵図を作成	③16・24 ③34 ③92 ③823 ③64 ③577
7	1602	池田輝政、姫路城築城と城下町建設に着手 2.一 本願寺、東西に分裂。播磨門末東本願寺に属す	③214 ③37・65 ③5231
8	1603	9.一 本徳寺の顕妙尼没、養子教門が本徳寺を継承	②736
		2. 6 池田輝政の二男忠継に備前国28万石を分与	③66・118 ③69

(付録) 編さんだより

既 刊 案 内

本編	第一巻上	自然	資料編	第七巻上	自然	史料編	第十三巻上	近現代 2
	第一巻下	考古		第七巻下	考古		第十三巻下	近現代 3
	第二巻	古代 中世		第八巻	古代 中世 1		第十四巻	姫路城
	第三巻	近世 1		第九巻	中世 2		第十五巻上	民俗編
	第四巻	近世 2		第十巻	近世 1		第十五巻中	文化財編 1
	第五巻上	近現代 1		第十一巻上	近世 2		第十五巻下	文化財編 2
別編	第五巻下	近現代 2	史料編	第十一巻下	近世 3	別編	第十六巻	年表・索引(今回発刊)
	第六巻	近現代 3		第十二巻	近現代 1			

姫路市史は全巻（16巻23冊）発刊済です。 ※既刊の正誤表はホームページに掲載しています。

購読申込みについて

書 名 姫路市史第十六巻 別編 年表・索引

〈郵送希望の場合〉

本の体裁 A5判／上製本／中性高質紙使用
装丁用織物表紙／貼箱入り

頒 価 5,000 円 送料 500 円（一部につき）

●現金書留・郵便為替

下記の住所までご送金ください。

頒布方法 〈直接購入の場合〉

次のところで販売しています。

城内図書館 史料整理担当

市政情報センター（市役所1階）

ジュンク堂書店（姫路店）

ジュンク堂書店（三宮店）

申込先 〒670-0012

姫路市本町 68-258 日本城郭研究センター内

城内図書館 史料整理担当

TEL(079)289-4886 FAX(079)289-4891